【取組機関・オブザーバー】

●:取組対象(主体) ○:取組対象(支援・協力) -:取組対象外

・基礎継続:これまでに実施してきた取組の継続・更新

※取組対象(主体)は、取組の実施・検討に努める機関であり必ずしも必須ではない ・応用:これまでに実施してきた取組を応用させた取組で、具体の取組内容が概ね定まっており、目標期間内に適宜進めていく取組

※取組機関の「●」「○」はR6年度の実施状況を踏まえて反映 ・発展:これまでに実施してきた取組を発展させた取組で、具体の取組内容は未定であり、検討、調整を経て、進めていく取組

						取約	且機関	オ	ブザーバー					取組内容	}						オブザーバー	
	取組項目	種別	目標時期	取組事例・取組イメージ	杰		三重県 熊野市	正元	J R 西日本	和歌山県	新宮市	田 辺 市	北 山 村	三重県	紀宝町	熊 野 市	地方気象出台	津地方気象台	近 畿 地 整	電源開発	関西電力	JR西日本
在①:7	(害リスク情報等の更	なる充実と	:目主防	災意識の同上に	こよる安全	全な日	E民避難等	の実践	1				1			I						
1	洪水時の河川管理者と関係市村との連携の検証と改善	町 基礎継続	継続的に実施	▼洪水時のホット ライン等による連 携会議の検証と改善	• •	• •	• • •	0 • -		実施中 ・関係市とのホットラインを構築済で、R6.5月の洪水対応演習時に、ホットラインの訓練を実施し、河川管理者と関係市前で連携できることを検証済・今後、必要に応じ改善を	実施済 共水時のホットライン等 こよる連携会議の検証	実施中 洪水時のホットライン等 による連携会議の検証	実施中 電話・FAX等で放水量 の情報を連絡	実施中 県管理の水位周知河川 (熊野川、板屋川) にお いて、ホットラインを構 楽し、連用している。	実施中 洪水時のホットライン等 による連携会議の検証	実施中 ・産田川、板屋川のホットラインを構築	実施中 実施する機会がなかっ た。 (R4)	実施の機会なし。	実施中 ・紀宝町タイムライン連携会議の実施 (台風10号)	-	-	-
_										行っていく予定 実施中	実施済	実施中	実施中	実施中	実施中	実施中	実施済	実施中	実施中	実施中	実施中	実施中
2	タイムラインの検証と改善及び・機関のタイムラインの共有	²⁶ 応用	継続的に 実施	▼関係機関のタイムラインの共有・検証・改善・ 大きない 大きない 大きない 大きない 大きない 大きない 大きない 大きない	• •	• •	• • •	• • C	000	・市、国、県、気象台で新宮市タイムライン協定を締結し、共有済み・R6.5月の洪水対応演習時に、タイムラインの項目について訓練を実施してタイムラインの検証を行った・今後、必要に応じ改善を行っていく予定	関係機関のタイムライン の共有・検証・改善、多 機関連携型タイムライン の検討	熊野川流域タイムライン (県拡大版)の作成	熊野川流域タイムライン (県拡大版)の作成 (R5)	県管理の水位周知河川 (熊野川、板屋川)にお いて、水書対応タイムラ インの検査を行い、必要 に応じて更新を行う。	紀宝町タイムラインにおいて、各関係機関との報共 快会議を開催し、情報等 有を行うともに、必善を実 に応じて検証・改善を実 施。	1. ラインに合わせて能軽	依頼のあった流域タイム ライン(案)の修正を報 もした。 台風第10号熊野川流域タ イムライン連携会議にて 気象説明を実施した。	台風第10号に伴う紀宝町 タイムライン連携会議に て気象説明を実施した。	取)の連用及ひ WED へきにして在	イン (県拡大版) の		熊野川流域タイムラ イン(県拡大版)の 作成
3	大規模水害に対する広域的な 難対策の検証	^誰	継続的に実施	▼水害リスク、感染拡大防止等を踏まえた広域避難の必要性検討、▼広域避難計画の立案	0 •	• •		- 0 -		実施中 ・地域防災計画で広域で避 難者及び傷病者の受け入れ 協定を締結 (関西広域連合と九州地方 知事会との災害時の相互応 援に関する協定等)		未実施 広域的な受援計画は策定 済であるが、避難対策に ついては検討段階に至っ ていない。	未実施 北山村は飛び地であり、 周囲を奈良県、三重県に 囲まれているので、広域 での避難対策が難しい現 状。 県境をまたぐ場合の広域 的避難については、避難 計画の立案などにおい て、県、又は国の支援を お願いしたい。	-	-	実施中 熊野川流域の集落につい ては浸水する可能性が高 いため近隣市町への広域 避難を含め検討中。 今後具体的な計画を作成 する場合には国・県・避 難先市町村のご協力をお 願いしたい。	-	-	実施中 市田川排水機場周辺地域の広域防災 拠点化の可能性を検討	-	-	-
4	水害リスク情報の充実(水害リンク空白域の解消,内外水一体、段階型浸水想定等)・周知	ス 多 応用	継続的に 実施	▼内外水一体、多 実階型の浸水型 区域図存成 ▼水 害リスク情報 の 型の 関係 で の で の で の で の で の で の で の で の で の で の で の で の で の で も の で も の ら の に 。 に の に の に の に 。 に 。 に の に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 。 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 。 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 。 。 に 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。	• •		• • -	- • -		実施中 ・R3~R5年度に水害リスク 情報の空白域の解消に向 け、洪水予解河川や水位周 知河川以外の一般河川及び 二報河川の景水浸水想定区 域図を作成し、R6.3.29に 当該渋水浸水想定区域図を 公表済 ・熊野川の多段階型浸水想 定区域図を作成		 -		実施済 新宮川水系の県管理河川 全てにおいて、洪水浸水 想定区域図の作成・公表 を行う。	方針の見直しに伴う、計	-	-	-	実施済 新宮川水系河川碧 備基本方針の見直 しに伴う計画規模図 の更数法定段及びが の更数までなっての 汚水ガス公表	-	-	-
5	水害リスク情報を活用した水害 ザードマップの作成(更新)・周9		継続的に 実施	▼No4の情報を活用 した水害ハザード マップの作成、▼ Web版ハザードマッ プの展開	0	• •	0 •	- 0 -		実施中 ・水害リスク情報の空白域の解消に向け、洪水予報河川や水位周知河川以外の一線列川及び二線河川の洪水 数可川及び二線で回数を可川の洪水 関係市町村に提供済	実施済 lo4の情報を活用した水き ハザードマップ及びWebが ハザードマップの作成	実施中 F R 6 年度にWeb版洪水ハ W ザードマップを公開 R 7 年度に洪水ハザード マップを更新予定	未実施 現在のハザードマップが 作成から8年程度経過し ており、令和7年度にお いて、更新する予定。	実施中 県HPによるハザードマップの周知		実施済 ・R2年度に井戸川、産田川・志原円・・R2年度に井戸川・産田川・恵野川・板屋川 販を作成し、R5年度に熊野宮川・黒川・久保川・湊川・大工川・湯谷川・小ス川版市・イスページの洪水ハ・ザードマップを更新した。	-	-	実施中 No.4見直しによる 浸水ナビ等更新	-	-	-
6	不動産関連業者に対し、水害リ ク情報の更なる充実と情報提供	ス基礎継続	継続的に実施	▼不動産業者への No4の情報も含めた 水害リスクの情報 提供	•	- -	•	- • -		実施中 ・ 公表済みの洪水予報河川及び水位周知河川に加え、 洪水予報河川や水位周知河川に加え、 洪水予報河川や水位周知河川以外の一級河川及近二級 河川の洪水浸水想定区域図 を作成後、ホームページ等 で公表を行い、情報提供中	-	-		実施済 新宮川水系の県管理河川 全てにおいて、 程定区域図の作成・ 表、ブレスリリースを行 うとともに、作成デー をオープンデータ化し、 情報提供体制を構築す る。	-	-	-	-	実施中 不動産業者へ情報提供済(問い合わせ等)	-	-	-
7	防災意識の向上に資する出前 座や水災害教育等の推進	溝 基礎継続	継続的に実施	▼出前講座・防災 授業等の実施	• •	•	0 •	0 • -		実施中 ・「出張!減災教室」を実 【令和6年7月: 新宮市、令 和6年9月: 田辺市など】・地域防災リーダー育成の ための「記の国防災人づく」 り塾」を実施 【令和6年度: 田辺会場】・防災授業を実施 【R6.6.18に警察、R6.7.31	実施済 出前講座の実施(随時実 ^危)	実施済 各種団体からの希望に応 じ防災学習会を実施	実施済	実施中 要請があれば、出前講座 等を実施する	実施中 客種団体等からの要請に 応じて、防災学習会を随 時実施。	実施中 ・自主防災会、自治会等 において、防災講話を実 施	実施中 佐頼のあった連絡会など に出前講座を実施。	実施中 ・市町職員を対象とした 防災研修を5月に実施し (熊野市さんが参加)。・ ・熊野市飛鳥町にて10月 に熊野市飛鳥町にて10月 講話実施予定。	実施中 R5.12.6熊野川中 学校防災授業実施 済及びR6.11.14 野川中学校防災授業実施 野川中学校防災授業実施予定	-	-	-

【取組機関・オブザーバー】

取組対象(主体) ○:取組対象(支援・協力) -:取組対象外

※取組対象(主体)は、取組の実施・検討に努める機関であり必ずしも必須ではない

※取組機関の「●」「○」はR6年度の実施状況を踏まえて反映

【種別】

・基礎継続:これまでに実施してきた取組の継続・更新

・応用:これまでに実施してきた取組を応用させた取組で、具体の取組内容が概ね定まっており、目標期間内に適宜進めていく取組

・発展:これまでに実施してきた取組を発展させた取組で、具体の取組内容は未定であり、検討、調整を経て、進めていく取組

								取組機	製		オブザール	バー					取組内容							オブザーバー	
	取組項目	₹	種別	目標時期	取組事例・ 取組イメージ	和歌山県	新四辺市	北山村	紀宝町	近畿地整	電源開発	JR西日本	和歌山県	新 宮 市	田 辺 市	北 山 村	三重県	紀 宝 町	能 野 市	地 方和 気歌山 台	津地方気象台	近 総 地 整	電源開発	関西電力	JR西日本
8	平時からの適切な避難行動に する取組の推進	資 基础	礎継続	継続的に 実施	▼避難訓練・防災策、 瀬線・・ 放対が策、 が対づ、避 単語・ では、 単語・ では、 単語・ では、 を表示し、 を設定し、 を設定し、 を設定し、 を設定し、 を設定し、 を設定し、 を設定し、 を設定し、 を設定し、 を設定し、 を設定し、 を設定し、 を設定し、 を設定し、 を設定し、 を設定し、 を認定し、 をこし、 を定し、 を、 をで、 をでし、 をで、 をで、 をで、 をでし、 をでし、 をでし、 をでし、 をで をでし、 を、		• •	-	• •	0 0		策ワ を 市 ・ 導り に対	市町村が実施する避難誘 灯の設置など避難路整備 対して「わかやま防災力 ワーアップ補助金」にて	実施済	実施済 市の防災訓練のほか、各 自主防災会での訓練を実 施する	実施中 自治会等での避難訓練を実施	-	実施中 全町で実施する防災訓練 のほか、各自主防災組織 単位での訓練を実施。	実施中 ・R4年度は井戸川流域で「Myまっぷウン+」を実施しマイタはシラン+」を実施してイタは紀和町板屋開流域で長期流域で大型川流域で展水帯制策の大型川流域で風水でありまりである。	-	実施中 ・防災訓練等に参加依頼 があった場合は参加す る。	実施中 各市町等への防災 訓練への参加			
\vdash													実施中	実施済	実施済	実施済	実施中	実施中			実施中	実施中			
9	要配慮者利用施設における避確保計画の作成促進や避難の 効性確保に資する取組の推進	実 基礎	礎継続		▼要配盘者利照的施 要配盘者和的脱明 可能更多。 東面。 東面。 東面。 東面。 東面。 東面。 東面。 東面		• •	• 0	• -	0 0		配で・避実難たなて	市町村地域防災計画或さ指導市町村地域防災計配立指導市町村州用倫合は、適定期制を指導市町村に対し、建難助は、建筑が、地域が決の画調査を成る開発が、地域が、地域が、地域が、地域が、地域が、地域が、地域が、地域が、地域が、地域		要配慮者利用施設での避 難確保計画の作成、避難 訓練の実施	要援護者の避難について自治会と協議	避難確保計画の策定及び 訓練の実施を呼びかける	要配慮者利用施設において、避難確保計画に基づく避難訓練の実施。	-	-	・三重県聴覚障害者福祉報 の利活用等についての書 及啓会・ を発生を行った(5月実 ・三重県民生委員の登場・ ・三重県民生委員のでは、 では、防災気象情報の入手を 等についての防災講話を 行った(7月実施)。	における避難確保 計画の作成支援の	-	-	-
10	共助に関する取組事例の共有 取組強化	、基础	礎継続	実施	▼自主防災活動の 手引き作成、▼自 主防災組続が行う 訓練等の支援		• •	• -	• •	- 0		_	-	実施済 自主防災活動の手引き作 成	実施済 地域の自主防災組織が行 う訓練や資機材等の整備 などの活動を自主防災組 総育成事業等補助金によ り支援	実施済 自主防災が行う避難訓練 に参加		実施中 各自主防災組織が行う防 災訓練や資機材の整備な どへの支援・協力を実 施。		-	-	実施中 ・事務所IPにて、 ・事務所IPにて、 ・事務所IPにて、 ・事務所IPにで、 ・事務所IPにで、 ・事務所IPにで、 ・場別で、 ・場覧がで、	-	-	-
													実施中	実施済	未実施	未実施	実施中	実施中	実施中	実施中	実施中	実施済			
11	コミュニティタイムラインやマイ・イムラインの普及・促進	·9 "	応用	継続的に	▼紀宝町地区タイムラインの展開、 ▼マイ・タイムラ インの作成支援	•	•	•	•	0		成を にお	マイ・タイムラインの作。 を促進するため、市町村 おける「避難対策ワーク ョップ」の開催を支援	(個人での記入等作業ヶ 所有)推進による個別の	本宮地域の洪水浸水想定区域においては、度々起きる浸水被害の実践的な経験がら避難行動がほぼしても地域防災計画等により対応に当たっている。市とより対応に当たっている。		県災害対策本部及び熊野 地方部におけるタイムラ インの作成	地区タイムラインの未策 定地区において、策定に 向けて、普及・促進を図 る。	成。R5年度は紀和町板屋 川流域で実施 R6年度は	実施する機会がなかっ た。 (R4)	台風第10号に伴う紀宝町 タイムライン連携会議に て気象説明を実施した。	タイムライン作成	-	-	-
													実施中	実施済	実施済	実施中	実施中	実施中	実施中	実施中	実施中	実施中			
12	SNS等を活用したリスクコミュニケーションの検討	<u>-</u>	発展	実施	▼SNS等を活用した 即時性の高い情報 発信・共有・活用 方策の検討		•	•	•	• •		_ 可能 「和 発 ・X	プッシュ型で情報発信が 能な防災ポータルアプリ 和歌山県防災ナビ」を開 ((旧Twitter)を活用し 情報発信	SNS (LINE、Facebook、X など) による防災情報の 発信	防災メールや市公式SNS等で防災情報を提供	ラインを活用した情報連 絡の実施	県災害対策本部によるSNS (Twitter等) の運用	防災行政無線と連携した SNS (LINE、メールなど) やテレビによる情報発 信。	・防災行政無線と連携したSNS(LINE)による情報 発信を実施	本庁及び大阪管区気象台 が、X(IBTwitter)によ る発信を実施中	気象庁では、Xにおいて員 新の防災情報の発信、 youtubeにおいては記者全 見の録画を共有してい る。	最 事務所Twiiterで 水防警報、洪水予 報、発信時や一定 雨量以上等の雨量 情報等を提供	-	-	-
													実施中	実施済	実施中	実施済	実施中	実施中	実施中			実施中			
13	感染症拡大防止等を考慮した: 難施設(民間施設等を活用した 急的な避難先を含む)の充実	- 緊	応用	実施	▼避難所・避難路 の整備、▼高台整 備、▼避難所内の 設備充実		•	• 0	•	- 0	_	・市 - 整 の や ま 動 金	市町村が実施する避難路 備や避難所に必要な物資 整備費用に対して「わか ま防災カパワーアップ補 金」にて支援	避難所装備(感染症対 策)の充実、多様な避難 先の確保(ホテル避難へ の補助)	避難所内の設備充実	(R5)	県補助金により各市町に おける避難所の感染的に 対策に必要な資機材の整 備について支援する	避難路や高台整備、避難 所内の設備充実などを実 施。	・間仕切り、簡易ベッド など感染症対策を考慮し た避難所施設の充実を図 る	-	-	掘削土砂の受入地 として、高台を整 備	1	-	1
14	感染症拡大防止を考慮した防 行動計画や避難計画等の更新 訓練の実施		応用	継続的に 実施	▼避難計画、タイムラインの更新、 ▼感染症拡大に配 感した避難所訓練 の実施	0	• •	• 0	•	- O		- ニュし 定考で市	実施中 「市町村避難所運営マ ュアル作成モデル」を策 し、感染症拡大防止等を 慮した避難所運営につい 市町村に周知	実施済 避難所の感染症対策マ ニュアルの作成とそれに 基づく避難所設置・受入 訓練の実施	実施済 避難所運営マニュアルを 改訂し、避難所の感染症 対策に配慮した避難所訓 練の実施	更新完了したので、訓練 の検討中(R5)	実施中 県が作成する「避難所運 営マニュアル策定指針」 等に基づきた、各市町の感 柴防止対策をふまえた 難所運営の実施を支援す る	実施中 令和6年度において、鵜殿 小学校避難所運営マニュ アルを作成中。	実施中 - R4年度紀和町板屋川流域で感染症拡大防止を考慮した避難所運営マニュアル作成。R6は有馬の運動所ではった。中学校の避難所運営マニュ馬中学校、旧市母小学校の遊難所運営マニュアルを作成。	-	-	未実施	-	-	-

取組機関・オブザーバー

●: 取組対象(主体) ○: 取組対象(支援・協力) -: 取組対象外 ※取組対象(主体)は、取組の実施・検討に努める機関であり必ずしも必須ではない ※取組機関の「●」「○」はR6年度の実施状況を踏まえて反映 ・基礎継続:これまでに実施してきた取組の継続・更新

・応用:れまでに実施してきた取組を応用させた取組で、具体の取組内容が概ね定まっており、目標期間内に適宜進めていく取組・発展:これまでに実施してきた取組を発展させた取組で、具体の取組内容は未定であり、検討、調整を経て、進めていく取組

						取組機関			オブザーバ	-				取組内	容						オブザーバー	
	取組項目	種別	目標時期	取組事例・ 取組イメージ	県	村県	市市	近畿地整	電源開発	J R R 西西日本	新宮市	田辺市	北 山 村	三重県	紀宝町	熊野市	地方和歌山	津地方気象台	近畿地整	電 源 開 発	関西電力	JR西日本
柱②:帽	「報の一元化や情報発(信の見え	る化等に	こよる情報伝達	体制の高原	隻化・効	率化															
15	10丁笙太平田 4-効用値が桂級塩			▼緊急速報メール 等のブッシュ型で の情報提供、▼SNS 等での情報提供				• •		実施中 ・和歌河原体が指標をデースを表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を	避難情報等の緊急速報 メールのブッシュ型情報 提供、SNS等での情報提供	実施済 実施済 防災メールや市公式SN S等で防災情報を提供	実施中 ラインを活用した情報提供	実施中 メールやSNSでの情報提修	実施中 防災行政無線と連携した SNS (LINE、メールなど) やテレビに防災銀 信。さら自主い気災組織の防災 大き全部市単にいり 表に配応災額が早く そしていいで を全部でしていいで を全部でしていいで を全部でしていいで を会いでする。	・防災行政無線と連携したSNS(LINE)による情報 発信を実施	実施中 民間事業者と連携して、 自分が登録した地域が キキクルで登録険度が発表 た場場合や誓に自然を新発表対 るサービスを提供	によるプッシュ型の防災	実施済 氾濫危険情報をを 対際一ルを ルル所書を ルル所書を ルル所書を ルル所書を が、発以 大い一、 一、 大い一、 一、 大い一、 一、 大い一、 一、 大い一、 大い一、 大い一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、		-	-
									11	実施中	実施済	実施済	実施中	実施中	実施中				実施済			
16	避難行動、水防活動に繋がる観 測施設(水位計、雨量計、河川監 視用カメラ)等の整備・配信	基礎継続	継続的に実施	▼危機管理型水位 計・簡易型河の整 視カメラ等の 機・配位ラインの 整備・配位ライン を備・周知	• •	• •	-	- •	- -	・「和歌山県河川/下町 ・「和歌山県河川/下町 が災情が大会の情報 ・熊野龍川(中本宮区国門 ・熊野龍川(中本宮区国門 ・熊野龍川町川山と野田 宮井及切カメ、要 が要に応じたいた。 が要に応じたいた。	: 河川監視カメラの整備(! 台)内2台の外部公開(HI 上)	水位計・河川監視カメラ 等の整備	水位監視のためのカメラ の設置	危機管理型水位計・簡易 型河川監視カメラを整 備・配信する。	紀宝町防災情報共有システムによりで、 テムによりで、 デムによりで、 をできるでは、 をできるでは、 をできるでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 でもいるでも、 でも、 でも、 でも、 でも、 でも、 でも、 でも、 でも、 でも、	-	-	-	危機管理型水位 計・簡易型型列川監視カメラを 視カメラを整備・ 配信済 起難難度水位ライン(成川を水高間 下田)の整備・ 知済	-	-	-
										実施中	実施済	実施中	未実施	実施中	実施中	実施中	実施済	実施中	実施済	実施済	未実施	未実施
17	各管理者の情報を効果的に配信 できる仕組みの必要性の確認と 構築	応用	継続的に実施	▼関係機関の減災 に資する、決水がら の取組、決水水が 機材の状況、決水防 機材の状況。 等を共有の確 を生せれるの確 記・構築	• • •	•	•	• •	0 0	・水防計画により水防済機材の状況や取組を共幸する仕組みとして構築・水防資機材の情報は、毎年水防計画書を更新し、その度共有	平時からの河川管理者と の情報共有等	関係機関の減災に資する 平時からの取組、洪水時 の対応状況、水防境材 の状況等の情報共有を 図っている	検討が必要。 配信できる仕組み、シス	水防資機材の備蓄状況 水水時の対応状況等 の情報は水防計画で共有 する仕組みとしており、 毎年更新を行っている。	平時から河川管理者との 情報共有を行うととも に、洪水時には、タイム ラインに基づく連携会議 による危機感共有を実 施。	・R4年度防災情報集約システムを導入した。	気象台と河川管理者と共 同で、洪水演習を実施	毎年、気象台と河川管理 者と共同で、洪水演習を 実施している。	洪水予報連絡会幹 事会(対面)によ る関係機関との洪 水情報等の共有を 実施	ダム放流に関する情報伝達ルート多重化(2013開始 〜2016完了) ダム放流に関する通知・通報先(行政 4箇所、警察・消防(5箇所)を追加(2012.9第7) 放流量による警報サイレン吹鳴頻速による警報サイレン吹鳴頻なが開かる場所とは13間 始〜2015完了)		特になし
										実施済	実施済	実施中	実施中	実施済	実施中	実施中	実施済	実施中	実施中	実施済	実施中	
18	雨量・水位・ダム放流情報等の一 元化の検討	応用	継続的に 実施	▼熊野川流域での 雨量・水位・ゲム 水の一元本 大水位・ボス 大水でのの効活 大水でである 大水で 大きの検討	• •		•	•	0 0		関係機関が集約した情報 サイトを避難情報発出の		県の情報、電源開発の洪 水時の放流量の情報を基 に避難情報を発信してい る。		宝町防災情報共有システ	合機関の情報を「古風接 近時に伴う緊急情報リン	国父有の水告リスクライ ンの表示を統合すること	気象庁の洪水キキクルと 国交省の水害リスクラインの表示を統合すること で危険度情報を一体的に 発信している。	川の防災情報にお ける情報提供		能の強化に向けた基本方針」に基づき、河川管理者へのダム情報の整備 (情報の発信)を検討、	-
19	ダム放流による水位変動見込み 等の情報提供の検討	応用	継続的に実施	▼ダム放流見込みによる下流区間水位の影響検討: ▼ 今後のダム放流見 込みの共有方法の 調整・検討	•	- •		-	0 0	実施中 ・二津野ダム、小森ダム、七色ダム、池原ダム(電源開発(株))の放派 見込み情報をFAKで表すし、関係機関で共有し、関係機関で共有、今後、観技供を受け、久ム放流を見込んだ水位予測を検討	-	-	-	実施済 ダム洪水調節機能協議会に参画し、協議会の中で検討する。		-	-	-	未実施 -	実施中 関係機関への通知・通報 時にダム放流量の見通と (増加、横ばい、減少 連絡(従前より実施) 数時間後の下測ダム放流 量についての、降雨・流入 予測技術の高度化を見据 えながら継続検討中	実施中 ダム操作規程に基づき関 係機関に通知、通報を実施。	-

【取組機関・オブザーバー】

●:取組対象(主体)○:取組対象(支援・協力) -:取組対象外※取組対象(主体)は、取組の実施・検討に努める機関であり必ずしも必須ではない※取組機関の「●」「○」はR6年度の実施状況を踏まえて反映

【種別】

・基礎継続:これまでに実施してきた取組の継続・更新

・応用:これまでに実施してきた取組を応用させた取組で、具体の取組内容が概ね定まっており、目標期間内に適宜進めていく取組・発展:これまでに実施してきた取組を発展させた取組で、具体の取組内容は未定であり、検討、調整を経て、進めていく取組

							取組	機関			オブザー	バー					取組内容	容						オブザーバー	
	取組項目		種別	目標時期	取組事例・取組イメージ	和歌山県	田北山野市村県	三重	熊野市	近畿地整	電源開発	JR西日本	和 歌 山 県	新 宮 市	田辺市	北 山 村	三重県	紀 宝 町	能野市	地方和歌山	津地方気象台	近 畿 地 整	電源開発	関西電力	JR西日本
20) 術の	・予測の周知・活用と予測技 向上(水位予測、氾濫予測、 間予測等)	応用	継続的に 実施	▼幅を持った水位 予測、▼予測の長 時間化、▼リアル タイム氾濫予測、 乗 ダン・ 乗 が、 大 防 等 で の 活 り ア の 表 は で の 表 で の 表 で の 表 で の た に の 活 が は で の 活 が は た に の 活 が に の 活 ろ に ろ に ろ に ろ に ろ に ろ に ろ に ろ に ろ に ろ	• -		-	- (• •	- -	予い周・位測で	実施中 熊野川において、洪水 報(水位予測)を行 私出水時に関係機関へ 知 今後、国からの予測水 の情報提供を受けるころ の長時間化をある。 の長時間化をある。 ことを検討中	-	-	-	実施中 ・今後、国からの予測水位の情報提供を受けたあと、活用を検討する。・・一級水系の本川・支川が一体となった洪水予測モデルを構築する。(R4~R5)	-	-	実施中 票施中 票 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要	実施中 水位予測に用いる雨量予 測のデータを気象庁から 提供している。	実施中 水害リスクライン における水位予測	-	-	-
21		事業者との連携による社会 被害最小化に繋げる検討及 践	応用	継続的に 実施	▼洪水予測の鉄道 事業者への提供、 ▼鉄道事業者の防 災行動計画作成支 援	- 0		- 0	- C	2 •		0	-	実施済 地域防災計画への鉄道事 業者の防災行動計画の記 載・検討	-	-	-	実施中 鉄道事業者との連携によ る社会的被害最小化に繋 げる方策について検討。	-	実施中 雨量予測データを提供し ている。	実施中 ・四日市あすなろう鉄道、三岐鉄道、伊勢鉄道において、防災情報の利活用や入手方法について 勉強会を実施した(7月、 8月)。	拡充等で鉄道事業 者との参画を検討	-	-	未実施 今後必要な事柄があれば 意見交換等行う
													実施中	実施済	実施済	実施中	未実施	実施中	実施中	実施中	実施中	実施中	実施済	未実施	
22		イアとの連携による避難に資 河 川情報提供の検討及び実	応用	継続的に 実施	▼メディアとは のした、 のした、 で、 はの可いでは、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、	• •	• •	•	•	•	0 0	メ強情行・しの	R6.8.20に『和歌山県城 ディア連携協議会(勉 会)』を実施し議会(効 報提供に係る協議を った 切迫した水害時を想定 実施、及び専門職員の 説について検討中	防災情報システムのLア ラート情報連携機能によ る情報提供	み。 避難情報発令時に、河川 氾濫の危険性のため等の 発令理由を付して情報提	ズ防災」にて孤立対策の 紹介を行った。 河川監視用のカメラは設 置済だが、情報発信については今後の課題。国・	検討中(R4~R6)	ケーブル 下 から で から	ZTVコミュニティチャンネ ルで河川のライブカメラ 映像が見ることができる ようになった。	和歌山県メディア連携協議会に参加し、防災インフラツアーに参加し、敬道・中継訓練を実施した。	毎年、NHKとの意見交換会にて、勉強会を実施している。	・和歌山県域メ ディア連携協議会 ・市田川排水機場 における防災イン フラッアーの企 画・実施	ダム放流量等の情報を関 係行政等へ提供済 (2022 年) 上記取組の他、具体的計 画はない	関西電力として主体的に 実施する内容はない。	-
										\prod			実施中	実施済	実施中	未実施	未実施	実施中	実施中	実施中		実施中			
23	リス 3 える	ク情報や治水事業効果の見 化	発展	継続的に実施	▼ハザードマップ の3次元化、▼VR技 術の活用	• •	•	•	• () •	- -	36	土砂災害警戒区域等の 0度動画」をYouTubeで 開	デル) の活用によるリス	デジタルツインプロジェ クトの活用により情報の 見える化を図り災害対応 力を強化。	化・VR技術の活用などに	現時点では作成予定な し。	VR(仮想現実)やAR (拡張現実)などのデジ タル技術を使った防災訓 練や避難支援の実用化に 向大学と共同研 究を実施中。			-	3 次元化浸水想定 区域の作成、DX ルーム (事務所、 出張所) の活用	-	-	-

【取組機関・オブザーバー】

「括임기

●:取組対象(主体) ○:取組対象(支援・協力) -:取組対象外 ※取組対象(主体)は、取組の実施・検討に努める機関であり必ずしも必須ではない

【種別】

・基礎継続:これまでに実施してきた取組の継続・更新

・応用:これまでに実施してきた取組を応用させた取組で、具体の取組内容が概ね定まっており、目標期間内に適宜進めていく取組・金属・これまでに実施してきた取組を発展された取組で、具体の取組内容は未定であり、検討、調整を経て、進めていく取組

取組機関 取組内容 取組項目 種別 取組イメージ 柱③:地域との連携強化による迅速かつ効果的な水防活動の実践 実施済 実施済 実施済 実施中 実施中 実施済 実施中 実施中 ・方面隊訓練の中で情報 伝達訓練も実施してい 継続的に 実施 実施 団の連絡体制の確 認・強化 LINEによる連絡を主と し、火災等の発生情報は 消防団等への連絡体制の定期的 な確認と伝達訓練の実施 選水予報の部外伝達演習 名と共同で行う洪水演習 事会や水防警報等を実施 保護 (特性で、関係機関の伝達) 連訓練も行われる。 に併せて、関係機関の伝達訓練も行われる。 にしている 基礎継続 ・ ・年度初めに消防団幹部 ineによる伝達を主とす 配布の戸別受信機による 情報伝達確認(月1回) 連絡体制の確認、情報伝達 メールにて配信。 活動中は、移動系無線機 の連絡先確認を行ってい る 訓練は未実施(R5) o。 ・火災等の事案発生情報 を活用している。 を消防団幹部へメール配信している。 実施済 実施済 実施中 継続的に 実施 ▼必要な水防資機 材の確認・検討・ 補充 年に1回程度保有数を確認 し、必要に応じて補充す な、これである。 25 必要な水防資機材の配備 基礎継続 必要な水防資機材 の確認・補充を実 ポンプを配備済 ・1~2か月毎に動作確 必要な水防資機材の確 認・検討・補充 ライフジャケットを各分 団に配布している。 必要な資機材の確認・検 認を実施し、必要に応じ 燃料等の補充 実施済 実施済 実施済 実施中 実施済 実施中 実施中 実施済 実施中 実施済 ▼地域(行政、消防団等)での水防 演習の実施、▼流域での多機関連携による水防演習の 26 関係機関と連携した実働水防演習の実施・継続 継続的に R4.5.28 国、県、市町村、消防団等の関係機関と熊野川総合水防演習を 基礎継続 今年度は実施無 今年度は、三重四川連合 総合水防演習を雲出川で 実施した(5月)。 実施 洪水予報の部外伝達演習 を実施 消防団における水防訓練 総合水防演習への参加 ・熊野川総合水防 演習の実施(R4) 活動時の避難場所は定め ▼水防活動、避難 水防活動時における避難 場所の定めは行っていな いが、各分団で安全確保 に努めていただいてい 継続的に 実施 経路等を踏まえた 避難場所の検討、 水防活動、避難経路等を 踏まえた避難場所の検 討、確保、退避基準の設 消防団等の避難場所の確保 基礎継続 テっている。 実施済 実施済 実施済 実施中 実施中 ▼消防団の募集促 継続的に 実施 単、▼ホームペー ジ、広報誌への掲 水防協力団体の募集・指定を促 基礎継続 主に各分団長に地域で入 団の促進を行っていただ いている。 消防団の募集促進、ホー ムページ、広報誌への掲 消防団員は条例定数で8 ポスター掲示及び配付 HP等での広報 消防団の募集促進、広報 0人となっているが、ほぼ定員を満たしている。 誌への掲載等を実施。 実施済 実施済 実施済 実施中 実施中 実施中 実施中 ▼関係者による重要水防箇所や水防 資機材等の現地確認、▼重要水防箇 所の更新・周知 今年度は、鈴鹿川、雲出 川、櫛田川、宮川、木津 川、名張川において、重 消防団や地域住民が参加した重 要水防箇所及び水防資材の共同 点検等の実施 継続的に 実施 洪水予報連絡会草 基礎継続 関係者による重要水防箇 所や水防資機材等の現地 所や水防資機材等の現地 ホティ 事会及び事務所 H P、県水防計画に 重要水防箇所の更 新周知を実施 関係者による重要水防筒 各分団により年1回資機 材点検を実施している。 消防団による機材の点検 所の確認や各分団による 水防資材の点検を実施。 川、名張川において、里 要水防箇所の合同点検が 行われ、櫛田川と木津川 の合同点検に参加した。 実施済 実施中 いては、水害時でも災害 対応できるよう説明し、 ▼No4の情報も含めた情報共有、▼管理者への水災害リスク情報の説明 対応済み(浸水想定区域 730 庁舎、災害拠点病院等に関する 水害リスク情報の共有 継続的に 実施 内であっても本部機能は 基礎継続 内であっても不可機能は 2階以上に置くなど) ・水害リスク情報の空白 域に向け、洪水予報河川 等の実施 それを踏まえた研修 等の実施 ボホハザードマップ等の 情報提供 で共有できている。 **洪水防災ハザードマップ** などの情報提供を実施。 後、関係市町村に提供し 情報共有済 実施済 実施済 大規模水災害発生時の庁舎等の 31 機能維持及び重要資機材への影 ▼施設の建て替 え、▼防災拠点施 設の整備 継続的に 実施 応用 本局の庁舎移転事 施(大手前合同庁 舎) 響の確認と有効な対策の実施 防災拠点施設を整備済。

【取組機関・オブザーバー】

『新민』

●:取組対象(主体)○:取組対象(支援・協力)一:取組対象外 ※取組対象(主体)は、取組の実施・検討に努める機関であり必ずしも必須ではない ※取組機関の「●」「○」は和6年度の実施状況を踏まえて反映 ・基礎継続:これまでに実施してきた取組の継続・更新

・応用:れまでに実施してきた取組を応用させた取組で、具体の取組内容が概ね定まっており、目標期間内に適宜進めていく取組・発展:これまでに実施してきた取組を発展させた取組で、具体の取組内容は未定であり、検討、調整を経て、進めていく取組

						:	取組機	関		オブザーバー					取組内容	容						オブザーバー		
	取組項目		種別	目標時期	取組事例・ 取組イメージ	和歌山県	新田 記宮 印市 市	北山東東	紀 熊野市	気象台	里 原 門 西 電 力	和歌山県	新宮市	田 辺 市	北 山 村	三重県	紀宝町	熊野市	地方気象出	津地方気象台	近 畿 地 整	電源開発	関西電力	JR西日本
柱④:汇	きをできるた	どけ防ぐ・減	らすため	の対策	の推進																			
	河道振削・低水護 備等の継続			継続的に実施	▼熊野川(直轄区 間)河道掘削、▼ 葉堤・護岸整備、 乗堤・護岸整 備、 地嵩上げ	•	_	_ •		- •		実施中 ・熊野川:整備計画区間にて、輪・中央と、河道棚削を実施中・・佐野川・整備計画区間により、近週削を実施中・・佐野護岸整備、河道掘削を実施中・	-	実施中 ************************************	-	実施済 熊野川(は、国際 国 国 に で は い に で い に 、	-	-	-	-	実施中	-	-	-
33	粘り強い堤防整備型ハード対策の検	等の危機管理 討・実施	発展	継続的に 実施	▼越水時に決壊し にくい堤防構造の 検討・実施		- -	- •		- •		-	-	-		実施中 北山川において、令和3年 度より堤防強化事業に取 り組んでおり、今後も継 続して実施する。		-	-	-	実施済 堤防天端の保護、 堤防裏法尻の補強 (危機管理型ハー ド対策)を実施済 み	-	-	-
34	市田川流域大規模内水対策(ハードネ	美浸水対策など 対策)の実施	基礎継続	継続的に 実施	▼雨水排水ポンプの整備、▼都市下水路整備の検討・ 実施	0	-	- -	• -	- 0		実施済 ・浮島川排水機場の排水 機能の強化のため、補助 ポンプ整備済	実施済 雨水排水ポンプ増強 (2.0mg/s) R6完成予定	-	-	-	実施中 成川深谷地区浸水対策事 業を実施中	,	,	-	実施中 票施中 市田川排水機場ポンプ増強	-	-	-
35	砂防事業の継続		基礎継続	継続的に 実施	▼砂防堰堤の整 備、▼砂防施設の 維持管理	•		- •				実施中 ・土石流等土砂災害の危 険性のある渓流等に砂防 施設を整備	-	-	-	実施中 流域内の5渓流において 砂防事業を実施中	-	-	-	-	-	-	-	-
36	利水ダム事前放流での雨水貯留機能	で その実施や流域 その向上	応用	継続的に 実施	▼ダム管理者と連携した利水ダム事 携した利水ダム事 前雨水貯留運透透 機の検討・実施	0	•	• 0	•	- 0		・ 新呂川小木プム洪小嗣 笠掛他が業会 (D6 5 97)	実施済 雨水貯留浸透施設整備の 検討・実施 (エ子ヶ浜小、緑丘中、 蓬莱グラウンド→完了)	実施中 ダム管理者と連携した利 水ダム事前放流の運用	実施中 電源開発株式会社におい て、発電がダムであるだだ いており、被書を押さえ ていただいている。	実施中 必要に応じて、事前放流 をより効果的に行えるよ う情報提供を行う。	実施中 ダム管理者と事前放流の 情報共有を実施。	実施中 ・ダム管理者と事前放流 の情報共有を行っている		-	節機能協議会でダ ム管理者と連携し た利水ダム事前放	実施中 2012.6から自主的に放流量を低減する運用「暫定運用」を開始 2020.5線結の治水協定に 基づく事前放流を開始 (方法は暫定運用と同じ	実施中 ・令和2年5月:治水協定 の締結・ ・令和3年10月:奥吉野発電所治水協力実施要領の 策定、提出 ・奥吉野発電所治水協力 実施要領に基づく運用を 実施要領に基づく運用を	-
37	水防拠点・河川防 の検討・調整及び!	災ステーション 整備の実施	応用	継続的に 実施	▼河川防災ステーション整備の検 討・調整・実施	-			- -	-		-	-	-	-	-	-	-	1	-	実施中 市田川排水機場周 辺地域の広域防災 拠点化の可能性を 検討	-	-	-
38	水防資機材の搬入 整備の実施	\路の検討及び	応用	継続的に 実施	▼搬入路の検討、 ▼搬入路の拡幅・ 補強・新設等		• •	• •	• •	-	_ _ _ F	実施中 ・重要水防箇所の点検 時、通路となる河川への 昇降路(搬入路)を併せ て点検	実施済搬入路等の検討	実施済 搬入路の検討	おくとろ道路3期工事によ る実施中 (R5)	実施中 搬入路必要箇所の判断基準はあるのか。また、堀 込河道区間においても検 討は必要か。 (R5)	水防資機材倉庫の搬入路	実施中搬入路等の検討	-	-	未実施	-	-	-

【取組機関・オブザーバー】

【種別】

●:取組対象(主体) ○:取組対象(支援・協力) -:取組対象外

※取組対象(主体)は、取組の実施・検討に努める機関であり必ずしも必須ではない ※取組機関の「●」「○」はR6年度の実施状況を踏まえて反映 ・基礎継続:これまでに実施してきた取組の継続・更新

・応用:これまでに実施してきた取組を応用させた取組で、具体の取組内容が概ね定まっており、目標期間内に適宜進めていく取組・発展:これまでに実施してきた取組を発展させた取組で、具体の取組内容は未定であり、検討、調整を経て、進めていく取組

							取組材	幾関		オ	ブザーバー					取組内	容						オブザーバー	
	取組項目		目標時期	取組事例・ 取組イメージ	和歌山県	f 田 記 辺 f 市	北山村	紀宝町	熊野 市	近畿地整	J R西日本	和 歌 山 県	新 宮 市	田 辺 市	北 山 村	三重県	紀宝町	能野市	地 方気象山 台	津地方気象台	近 畿 地 整	電源開発	関西電力	JR西日本
柱⑤:4	[活再建、社会経済活]	助を一刻	も早く回行	復させるための	排水流	舌動・	復旧	- 復男	の実	現														
												実施中	実施済	実施中		実施中	実施中				実施中			
39	排水施設の確実かつ的確な運用 に資する施設整備・維持管理	基礎継続	継続的に実施	▼排水施設の点 検、維持管理の自 水門・種押の自 化、▼排水施設の 耐水化、▼水門・ 種門の操作演習	•	•	-	•		• -		・浮島川排水機場の月2回 の動作確認、月1回の電気 設備点検を実施	排水施設の点検、維持管 理、水門・樋門の操作研 修	萩樋門、排水ポンプ施設 の維持管理	-	年に1回点検を行う。	毎年、排水施設の点検・ 維持管理・操作訓練等を 実施。	-	-	-	施設体域 施設点検 維持急地 を実施時の動 通門の実留会体 で実施 で実施 で実習会作を遠 で実際 で実施 職員による実施 作訓練を に訓練を に動した。 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、	-	-	-
													実施済	実施中	未実施		実施中				実施中			
40	排水訓練の継続及び検証、改善	基礎継続	継続的に実施	▼排水ポンプ車配 置訓練の実施、▼ 可搬式ポンプの使 用訓練、▼排水計 画の見直し	- •	•	• -	•	- -	• -	- -	-	可搬式ポンプの点検及び 使用訓練	萩水門の排水ポンプ設備 の定期点検を実施	自然流下で排水できるの で、ポンプで排水しな い。	-	可搬式ポンプの点検、使用訓練を実施。	-	-	-	排水ポンプ車の使 用訓練の実施	-	-	-
												実施済	実施済	実施済	未実施	実施中	実施済	実施中						
41	災害廃棄物処理計画の策定・改定	基礎継続	継続的に実施	▼災害廃棄物処理 計画の策定、▼必 要に応じた既存計 画の改定			•		-	- -	. - -	・災害廃棄物処理計画を 策定済み	災害廃棄物処理計画の策 定 (R3)	令和3年6月に策定済み R6年度に修正したが、 今後必要に応じ見直して いく	北山村地域防災計画に も、大規模災害時の具体 的な指針となる災害疾 物処理計画を策定する、 とあるが策定されていな い状況。	I Z	紀宝町災害廃棄物処理計 画の策定済。	·熊野市災害廃棄物処理 計画策定済	-	-	-	-	-	-
												実施済	実施済	実施中	実施中	実施済	実施中	実施中	実施中	実施中	実施済			
42	災害復旧のための自衛隊・水防団・報道機関との連携強化に資する取組	応用	継続的に実施	▼平時からの情報 東有・連絡体制の 確立、▼ を見据えた 防災訓練等の実施		•	• •	•	•	• -		・R4.5.28 国、県、市町村、水防団等の関係機関と推野川総合水防演習により防災と著復旧に係る連携強化を図った・陸上自衛隊等も参加「和歌山県総合防災訓練」(R6.10.16)を実施	平時からの情報共有・連 絡体制の確立 総合防災訓練の実施 (R3)	平時からの情報共有と連 絡体制の構築し、防災訓 練等の実施している。	R4.5.28 国、県、市町村、消防団等の関係機関と熊野川総合水防演習を実施 (R5)	R4に近畿地を、和歌山 県、関係市町村等と連携 し、熊野川総合水防演習 を実施	平時から、消防団との情 報共有を行うとともに、 連絡体制も整備済。	・平時から自衛隊、消防 団等と情報共有を行って いる。	R4.5.28 国、県、市町村、消防団等の関係機関と振野川総合水防演習を 実施 (R5)	津地方気象台が毎年開催 している「防災情報みえ 連絡会」において、報道 機関を含む関係機関に対 し、防災情報の普及・理 解の促進を図っている。	熊野川総合水防演 習の実施 (R4)	-	-	-
												実施中	実施済	実施中	未実施	実施済	実施中	実施中			実施中			
43	水害対応版BCP作成、企業に対 する作成支援	応用	継続的に 実施	▼企業へのNo4の情報も含めた水害リスク、防災行動計画等の情報提供			• 0		-	0 -		・水害リスク情報の空白 域の解消に向け、洪水予 報河川や水位周知河川以 外の一級河川及び二級河 川の洪水浸水想定区以近 を作成後、関係市町村に 提供済	企業へのNo4の情報も含め た水害リスクの情報提供	洪水ハザードマップ等の 情報提供	マンパワー不足により、取り組めていない現状。 BCPの作成または、復 旧・復興に向けた支援を お願いしたい。	洪水温水相中区绿网土 <i>作</i>	洪水防災ハザードマップ	市内事業所から依頼が あった場合には市作成の ハザードマップを提供 し、また間い合わせにも 対応している。	-	-	災害情報普及支援 室を通じて実施中	-	-	-
												実施中	実施済	実施中		実施中	実施中				実施中			
44	地域防災計画の被災者支援の検 証(避難所生活、仮設・復興住宅 及び避難所用地の確保等)	基礎継続	継続的に 実施	▼被災者支援の取 組事例の収集・共 有、▼支援内容の 検討		•	- O		- -	0 -	. _ _	・避難所生活について県 で市町村向け「避難所運 営マニュアル作成モデ ル」を作成し、市町村を 支援	被災者支援の取組事例の 収集・共有、地域防災計 画の修正 (支援内容等)	被災者支援の取組事例の収集・共有等	-	一級水系の本川・支川が 一体となった洪水予測モ デルを構築する。 (R5)	仮設・復興住宅などの建 設用地を整備中。	-	-	-	県市町の防災会議 において、県市町 防災計画の策定に 関する支援・協力 を行う	-	-	-